

池田草菴 いしかた きくざう 儒者。文化十年七月二十三日但馬國養父郡宿南村生れ、明治十一年九月二十四日歿（八三・七六）。講義、字子敬、幼名歌也、通稱頑藏。別號青谿居士、青谿書院主人、青谿樵夫等。少時、両親と亡くし佛門に入りしが、天保二年京に出く桐馬九方の門に入り朱子學を修めた。弘化四年郷村に青谿書院を開いて子弟を教授、但馬聖人と仰がれた。また大橋訥菴、春日潜菴と共に幕末の二番と稱せられた。門弟に北垣國道、濱尾新等がある。

著書 『肄業餘稿』（大正五年十一月二十三日大阪・清海清刊）、『幕末朱子學者叢書輯集・卷一』（合著・岡田武彦編、昭和二十七年十一月後記、無刊記）等の他、傳記に、豊田小八郎著『但馬聖人』（明治四十年八月九日博文館）、池田紫星著『池田草菴』（昭和二十八年九月二十一日同文書院）、島田清著『池田草菴』（昭和二十五年十一月一日兵庫・兵庫県教育委員会云）等がある。

